

令和4年度における事業経営についての目標

1 事業活動に関する指標・目標・行動計画

大阪市の中期目標では、当社の事業経営を通じて達成しようとする行政目的又は施策の具体的な内容として、「阪神港（大阪港及び神戸港）のうちの大阪港において、外貨埠頭の利用を拡大することで貨物取扱量を増大させること、また、フェリー航路数を維持すること」としている。

これを受けた当社の中期計画では、次のとおり取り組んでいくこととしている。

- ・集貨事業の推進策として、  
国内事業者向けセミナーの開催  
海外ポートセールスの実施
- ・港湾機能の強化に資する施設整備として、  
搬出入ゲートの増設を含むターミナル内動線の効率化等コンテナ埠頭の整備（夢洲地区：C12 延伸部）
- ・コンテナ埠頭周辺の渋滞緩和に向けて、  
「新・港湾情報システム」(CONPAS) の導入
- ・フェリー航路数の維持策として、  
大阪市が実施するフェリー振興策への協力  
当社独自に展開する振興策の実施

当社では令和4年において、次のとおり事業活動を推進し、大阪市が求める目標の達成を目指していく。

		集貨事業の推進	港湾機能の強化に資する施設整備	コンテナ埠頭周辺の渋滞緩和に向けた「新・港湾情報システム」(CONPAS) の導入	フェリー航路数の維持
R4年	中期計画	・国内事業者向けセミナーの開催 ・海外ポートセールスの実施	搬出入ゲートの増設を含むターミナル内動線の効率化等コンテナ埠頭の整備を進めること（夢洲地区：C12 延伸部）	・「新・港湾情報システム」(CONPAS) の導入	・大阪市が実施するフェリー振興策への協力 ・当社独自に展開する振興策の実施
	目標	・セミナーの開催回数…5回 ・海外ポートセールスの実施回数…1回	搬出入ゲートの増設を含むターミナル内動線の効率化等コンテナ埠頭の整備を進める（夢洲地区：C12延伸部）	・夢洲コンテナターミナルにおける試験運用の実施及び結果分析 ・夢洲コンテナターミナルにおける常時運用の調整 ・咲洲コンテナターミナルにおけるCONPAS導入の検討	・大阪市が実施するフェリー振興策への協力（年1回） ・フェリー振興のための広告掲載をはじめとした振興策の実施（3項目）
	行動計画	・セミナーの開催…国内事業者向けセミナーとして、次の取組を実施する ①阪神港の集貨事業の取組を紹介する「阪神港集貨事業説明会」（4/25神戸、4/26大阪（WEB配信併用）、4/28東京にて実施済） ②阪神港の最新情報、集貨及び環境への取組などを紹介する「阪神港セミナー」（2都市2回） 民間事業者とともにトップセールス活動（セミナーの開催等）を実施 ・海外ポートセールス…主として東南アジアにおいて地元荷主を対象に民間事業者とともにトップセールス活動（セミナーの開催等）を実施	・夢洲の事業者とC12延伸部背後に整備する施設のレイアウト等に関するすり合わせを行い、国、事業者、HPCの施工区分と費用負担について調整する。 ・事業者との調整内容を踏まえ、鋼材の不足や高騰による影響も十分に考慮の上、詳細な設計を確定する。 ・工事を発注し現地着手し、工程监理を行う。	・夢洲における試験運用を継続して実施し、試験結果の分析を行う。 ・常時運用に向け事業者と調整を行う。 ・咲洲において事業者調整状況を踏まえ試験運用着手時期を検討する	・大阪市が実施するフェリー振興策である市民を対象とした大阪湾クルーズへの協力を行う（岸壁整備、参加者の受付、誘導、案内等） ・フェリー事業のPR活動の実施（年間を通してのHPの更新） ・フェリー振興のための事業者と時期、内容等調整の上広告掲載（新聞折り込み・年2回） ・大阪港におけるフェリー運航にかかる利用者との意見交換及び協議を行う。特に夏季、年末年始の多客期に向けては関係機関との連携を強化する。（月4回）。

2 財務運営に関する指標・目標・行動計画

1に示した大阪市が当社に求める目標の達成をはじめとし、当社の事業活動を安定的に推進するために、次のとおり財務運営に関する取組みを進めていく。

## 指標

自己資本比率

## 目標

自己資本比率 10%以上の確保

## 行動計画

港湾運営会社のメリットである無利子貸付金制度を活用しながら積極的な経営を行う一方で、収入の維持拡大、コストの削減、資金繰り等を計画的に行うことで安定的な会社経営を目指すこととし、今後も国際競争力強化のために積極的な投資を行っていく中で、投資と利益のバランスを考え、一定の財務規律を維持し、自己資本比率 10%以上の確保を目指す。